

基本的な紹介

南台湾に奇蹟を起こしている南部科学工業園区(以下南科と略称)は、行政院の1991年「国家建設六年計画」で確立した「新設サイエンスパーク」構想で、1993年に「経済振興方案」が通過した際、合わせて「南部科学工業園区増設」を提出して、国家科学委員会(以下国科会と略称)が1995年2月に設置しました。2009年末から現在に至るまで、園区に入居している業者はすでに150社を超え、就業者数は5万人近くになり、南台湾で最大の産業集積及び就業人口密度が最高の区域になっています。将来も南科は引き続き南部科学工業園区管理局(以下南科管理局と略称)の指導の下、「人文」、「環境」、「科学技術」が共生するハイテク園区にまい進して、南台湾の産業発展のために更に輝かしい業績を創造します。

台南園区は台南県新市郷、善化鎮及び安定郷の間に位置し、総面積は1,043ヘクタールで、園区の最大産業は光電、集積回路、精密機械及びバイオテクノロジー等の産業です。交通面では国道1号線(中山高速道路)及び国道8号線新市インターチェンジ、省道台1号線等から園区連絡道路を経て園区に來ることができます。また、高速鉄道台南駅からシャトルバスが利用でき、最寄の台湾鉄道駅には善化駅と新市駅があります。これらに加えて、2010年初頭には南科無料巡回バスが運行し始め、2010年中頃には台湾鉄道南科駅も使用が開始されるので、台南園区及び周辺の交通網がさらに完全に繋がり、便利になります。

高雄園区は高雄県路竹郷、岡山鎮及び永安郷の間に位置して、総面積は570ヘクタールです。最大産業はバイオテクノロジー(医療器材)、光電子、精密機械等です。交通面は省道台1号線、国道1号線高科インターチェンジから連絡道路を経て園区に到達します。大衆運輸では台湾鉄道の路竹駅と岡山駅が最寄り駅になります。また、小港国際空港まで30km、及び高雄港まで25kmの絶好の立地地理条件にあるので、高雄園区を台湾で最良の国際運輸サイエンスパークにしています。



● 台南園区交通マップ



● 高雄園区交通マップ

